

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学等のインターンシップ充実に向けた地域におけるキャリア教育・就職支援体制整備事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・平成30年度		担当課室	専門教育課 学生・留学生課		専門教育課長 内藤 敏也 学生・留学生課長 渡辺 正美		
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学等における教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「我が国の人材育成強化に関する対応方針(大学生等の就職採用活動問題を中心に)」(平成25年内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学等におけるインターンシップの充実に向け、地域において大学等と産業界との調整を図るとともに、インターンシップ等のコーディネーターを行う専門人材の養成等を行う体制を構築する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>「日本再興戦略」等に基づき、大学等のインターンシップの充実に向け、地域において大学等と産業界との調整を図りながら、キャリア教育・就職支援を行う体制を地域組織として整備する。</p> <p>本体制の機能を効果的に発揮させるため、経済団体、大学団体、NPO法人等が参加する統括組織を公募・選定し、地域組織の選定及び設立支援等を実施。さらに、統括組織においては、中長期インターンシップなど、多様な形態のインターンシップの調査研究等を行うとともに、その普及・推進を図る。</p> <p>インターンシップ等のマッチングや専門人材の養成の支援を行うことを通じ、大学等におけるキャリア教育の充実に図ることによって、平成27年度以降の卒業予定者に対する就職・採用活動時期の後ろ倒しへの円滑な移行を図る。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	397
		補正予算						
		繰越し等						
		計						397
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (30年度)
	地域組織が事業を行っている都道府県の割合	成果実績	%	-	-	-	100	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域組織の選定件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	※26年度活動見込である。	
					-	(-)	(-)	(12)
単位当たりコスト	33(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =395(百万円)/地域組織件数(12件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	産学連携教育推進委託費	-	395百万円					
	産学連携教育推進事務費	-	2百万円					
計	-	397百万円						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本年4月に総理より経済界へ就職活動の後ろ倒しについて要請するとともに、政府として、キャリア教育やインターンシップへの支援強化する旨の発言があった。また、「日本再興戦略」(平成25年6月閣議決定)等においても、インターンシップにおいて大学等と地域産業界との調整を行う仕組みを構築等し、キャリア教育から就職まで一貫して支援する体制を強化する等が提言されている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	経費の執行に関しては、事業年度毎に委託先から提出される事業報告書等において、支出先・使途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行うこととしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	支出先の選定に当たっては、公募により、インターンシップの推進・普及について、最も効果的、効率的に実施可能な事業者を選定し、事業の実効性を高める。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は地域において大学等と産業界が調整を図り、インターンシップの充実に向け、キャリア教育・就職支援を行う体制を強化するものであり、政府からのキャリア教育・インターンシップへの支援を強化するという要請に応えるものである。 ・経費の執行に関しては、支出先・使途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について、確認を行うこととしている。 				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
—					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
397 百万円

・諸謝金 0.7百万円
・職員旅費 0.3百万円
・委員等旅費 0.5百万円
・庁費 0.4百万円 } を含む

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

（民間団体(独立行政法人、公益法人、NPO法人等)から提案のあった事業内容を審査の上、委託する取組を選定し、委託契約を締結する。）



【公募・委託】

A. 民間団体(独立行政法人、公益法人、NPO法人等)
(1機関)
395 百万円

（国との委託契約に基づき、統括組織として、地域組織の選定及び設立支援を行い、全国の各地域組織への情報提供・共有、普及啓発やインターンシップに関する調査研究を実施する。）



【再委託】

B. 自治体、公益法人、NPO法人 等
(12機関)
19 百万円

（統括組織と共同して、地域において、インターンシップ受入企業開拓、フォローアップを行い、企業と学生とのインターンシップ等のマッチング及びインターンシップのコーディネートを行う専門人材の養成等を行う。）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.民間団体(独立行政法人、公益法人、NPO法人等)(1機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
産学連携教育推進委託費	大学等のインターンシップ充実に向けた地域における キャリア教育・就職支援体制整備事業	395			
計		395	計		0
B.自治体、公益法人、NPO法人等(12機関)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
産学連携教育推進委託費	大学等のインターンシップ充実に向けた地域における キャリア教育・就職支援体制整備事業	19			
計		19	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0